

展示室休室中も、岡本太郎美術館は活動します

無料ミニ企画「ちょこっとTARO 太郎の森」

2026年4月18日(土)～2026年7月12日(日)



岡本太郎《樹霊II》1970年

令和8年3月30日より、当館は改修工事等のために展示室を休室いたしますが、令和8年度につきましては、工事に影響のない館内無料スペースを活用し、岡本太郎の彫刻作品を気軽にお楽しみいただけるミニ企画「ちょこっとTARO」を開催いたします。

第一弾は、「太郎の森」をテーマに、樹や自然をモチーフにした岡本太郎の立体作品と、ゆるふわ昆虫のイラストレーションで幅広い世代から人気を集めるじゅえき太郎さん(第19回岡本太郎現代芸術賞入選)との、ダブル太郎によるコラボレーションです。

「樹木」は、岡本太郎の作品にたびたび登場するモチーフのひとつ。大きなものでは胎内に生命の樹を内包する「太陽の塔」

がありますが、今回は《こどもの樹》や《夢の樹》、《樹霊》といった樹に由来する作品のほか、自然や動物たちをモチーフにしたものを「太郎の森」として集めました。

ここにじゅえき太郎さんの自然や昆虫を描いた作品が、どのように共鳴するでしょうか。第19回岡本太郎賞展で発表した《むしとり》や昆虫を拡大して描いたシリーズのほか、書籍の原画やスケッチなどもご紹介します。岡本太郎好きで、それが高じて名前にもつい「太郎」を入れてしまったじゅえきさん。太郎作品とのコラボレーションにもぜひご注目ください。

春から初夏にかけては、樹々の新緑が美しい季節。生田緑地の散策とともに、ぜひ、「ちょこっと」岡本太郎+じゅえき太郎の世界をお楽しみください。



岡本太郎《こどもの樹》1985年



岡本太郎《夢の樹》1983年

《開催概要》

会 期:2026年4月18日(土)～7月12日(日)

※3月30日(月)～4月17日(金)は展示替え及び改修工事等の影響により臨時休館

開館時間:9:30～17:00(入館16:30まで)

休 館 日:月曜日(5月4日を除く)、5月7日(木)、8日(金)

観 覧 料:無料

会 場:川崎市岡本太郎美術館 ギャラリースペース

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

カフェテリア TARO、ミュージアムショップ営業のお知らせ

展示室休室期間中もカフェテリア TARO、ミュージアムショップは美術館開館日に営業しております。

緑地散策のかたわら、お気軽にお立ち寄りください!

カフェテリア TARO 営業時間 平日…11:00～17:00(L.O.16:30) 土日祝日…10:00～17:00(L.O.16:30)

※12月～2月は左記平日の営業時間となります。

ミュージアムショップ 営業時間 平日…10:00～17:00 土日祝日…9:30～17:00

PRESS RELEASE



●岡本太郎の立体作品を気軽に楽しめます

館内の無料スペースにて、《こどもの樹》や《ノン》をはじめ岡本太郎の人気の彫刻を楽しんでいただけます。岡本太郎がデザインした《坐ることを拒否する椅子》や《駄々っ子》などに座って体感、写真撮影もちろん OK です。

●じゅえき太郎と岡本太郎のコラボレーション

第19回岡本太郎現代芸術賞入選作家であるじゅえき太郎さんは、岡本太郎好きでも知られるイラストレーター。「むし」をテーマにした大作《むしとり》《かぶとむし》のほか、今回かき下ろしとなる岡本作品とのコラボレーションも予定しています。

出品作品

岡本太郎 《こどもの樹》《夢の樹》《太陽の塔》ほか 約20点 じゅえき太郎 《むしとり》《かぶとむし》原画、ドローイングほか

じゅえき太郎

イラストレーター、画家、漫画家。第19回岡本太郎現代芸術賞入選。身近な虫をモチーフにさまざまな作品を制作。「ゆるふわ昆虫図鑑」(@64zukan)のSNSで幅広い人気を集める。宝島社より『ゆるふわ昆虫図鑑 気持ちがゆるくなる虫ライフ』でデビュー。主著に絵本『すごい虫ずかん ぞうきばやしを のぞいたら』(KADOKAWA)や『むしあつまれ! じゅえきくん』(Gakken)、『まどあけずかん むし』(小学館)のイラストも担当。「ジャポニカ学習帳」の解説イラストや「アクアマリンふくしま」の展示解説イラストも担当。



じゅえき太郎《むしとり》2015年



《むしとり》部分

★広報用画像をお貸ししています。
ご希望の媒体様は、当館広報宛にお問合せください。



じゅえき太郎《あげは幼虫》2014年



じゅえき太郎《かぶとむし》2014年



じゅえき太郎ドローイング(2026年かき下ろし)



《お問い合わせ》

川崎市岡本太郎美術館
企画担当: 佐藤、加藤
広報担当: 山内(pr@taromuseum.jp)
〒214-0032
神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内
TEL: 044-900-9898 / FAX: 044-900-9966
<https://www.taromuseum.jp>